

はじめに

本冊子「森を楽しむ」は茅野市 市民の森の我々による観察記録を基に森の楽しみ方の例をまとめました。その内容は殆どがこの地域の里山に共通しています。

科学万能の現代文明は大きな壁に直面しています。その一因は文明の進化に伴い人々を森から遠ざけてきた事だと思えます。

しかし森の恩恵と森への畏敬の念は長い人類の歴史を通して人々の心に刷り込まれています。少しでも本冊子がそれらを呼び起こす契機になれば幸いです。不思議なご縁で本冊子を手に取られた皆さんが、ご自身で森を楽しむ学びながら周囲の方々へその輪を広げて頂きたいと思えます。その際、前巻の市民の森ガイドブック「市民の森に集う」も合わせてご利用下さい。

本冊子は担当者の並々ならぬ努力と共に、内容に対する様々なアドバイスを下さった方々のご協力の賜物です。

そして必要な資金の大半は平成28年度長野県元気づくり支援金、美しい環境作り支援金から頂きました。関係各位に深くお礼申し上げます。

NPO法人 八ヶ岳森林文化の会 理事長 南波一郎



私たちは、平成24年3月に茅野市 市民の森のガイドブック「市民の森に集う」を発行しました。

それから4年間、ガイドブックを片手に一般市民の方も交えて毎月1回月例観察会を実施してきました。そこで私たちは、森には沢山の自然の贈り物があることに気付き、皆で大いに驚き、楽しませてもらいました。

この体験を埋もれさせては勿体ないという思いと、里山から遠ざかった人たち、里山で遊ぶ機会の少なくなった子供たちにも知らせたいという思いから、本冊子にまとめることにしました。

ここでの紹介は森の楽しみ方のほんの一例にすぎませんが、読まれた方がご自分の好みに合った楽しみ方を見出される契機になることを願っています。

本冊子制作に当たっては、多くの皆さま方のご支援、ご協力を頂きました。ここに、心より感謝申し上げます。

井村悦子 記

NPO法人 八ヶ岳森林文化の会

市民の森ガイドブック製作プロジェクト・チーム

チーム・リーダー 南波一郎

編集委員会 委員長 井村悦子

委員 矢崎恵子 馬場哲郎 渡辺和代 小川貴子

